

100点加算に対する当院のとりくみ



医療法人貴和の会すながわ内科クリニック

1) 診療支援部リハビリテーション科 2) 診療部臨床研究科 3) 診療部医局

伊波 亜津美¹⁾ 上間 美香¹⁾ 小橋川 敦¹⁾ 砂川 佳慧²⁾
神谷 乗史³⁾ 米須 功³⁾ 砂川 博司³⁾

はじめに

2018年より、糖尿病透析予防指導管理料350点（以下透防管）に、高度腎機能障害患者指導加算100点（以下100点加算）が追加されたが、制度の煩雑さと評価の厳格さから、沖縄県では100点加算の認定施設は皆無であった。

当院では、2019年10月に施設申請を行い、算定可能となった。現在、JMAP関連施設における先行実践例を参考にしながら、プロトコール確定および全対象者への運用へ向けて取り組んでいるので、その経過を報告する。

施設の概要

- ・施設名：すながわ内科クリニック
- ・病院病床数：0床
- ・年間外来患者数（当該科）2,204名^{2019年12月末現在}
1型糖尿病120名 2型糖尿病2,084名
- ・外来医師9
（うち 常勤3、糖尿病専門医5 腎臓病専門医1、リハビリテーション専門医1）
- ・外来看護師数（当該科）6（うちCDEJ3）
- ・その他の協力体制
 - 管理栄養士4（うちCDEJ2,育休1）
 - 臨床検査技師2（うちCDEJ1）
 - 健康運動指導士2
 - 保健師1
 - 理学療法士3
 - クラーク2

当院外来における療養支援体制



当院外来における各職種の役割

		看護師	准看護師	保健師	管理栄養士	臨床検査技師	理学療法士	健康運動士	クラーク
問診	手帳確認	●	●	●	●	●	●	●	●
	強化月間	●	●	●	●	●	●	●	●
指導	服薬指導	●	●	●					
	療養指導	■ J・L	■ L	◎	■	■			
	栄養指導				■				
	運動指導	◎	◎	◎	◎		◎	●	
	禁煙外来	◆	◆	◆	◆□	◆□	◆□	◆□	◆□
集団	運動療法			□	□		◎	●	□
	糖尿病教室	●	●	●	●	●	理学療法士 ▼腎リハプログラムの開発 ▼体力測定と評価 ▼運動メニューの提案		
重症化予防	フットケア	■*							
	透析予防	■*		◎	■*				
	腎ハイリスク	■ J・L	■ L	■	■ J・L	■ J・L			
腎リハ説明	●	●	●	●	●	▼	●	●	

●実施可能 ■CDEJ/LCDE *経験5年以上◆禁煙支援士 ◎研修等受講 □支援補助

腎症重症化予防のための 医師・看護師・管理栄養士 + 保健師による介入項目

医師

- ◆ eGFRの評価
- ◆ 尿蛋白の評価
- ◆ 厳密な血圧管理(降圧剤の調整)
- ◆ 血糖コントロール
- ◆ 目標値の設定と評価
- ◆ 経口糖尿病薬・注射薬の調整
- ◆ GLP1受容体作動薬の使用(腎保護作用目的) → フレイル・サルコペニアの評価・確認
- ◆ SGLT-2阻害薬の使用
- ◆ 脂質代謝異常・肥満の是正
- ◆ 心血管病既往者の再発管理

看護師

保健師

管理栄養士

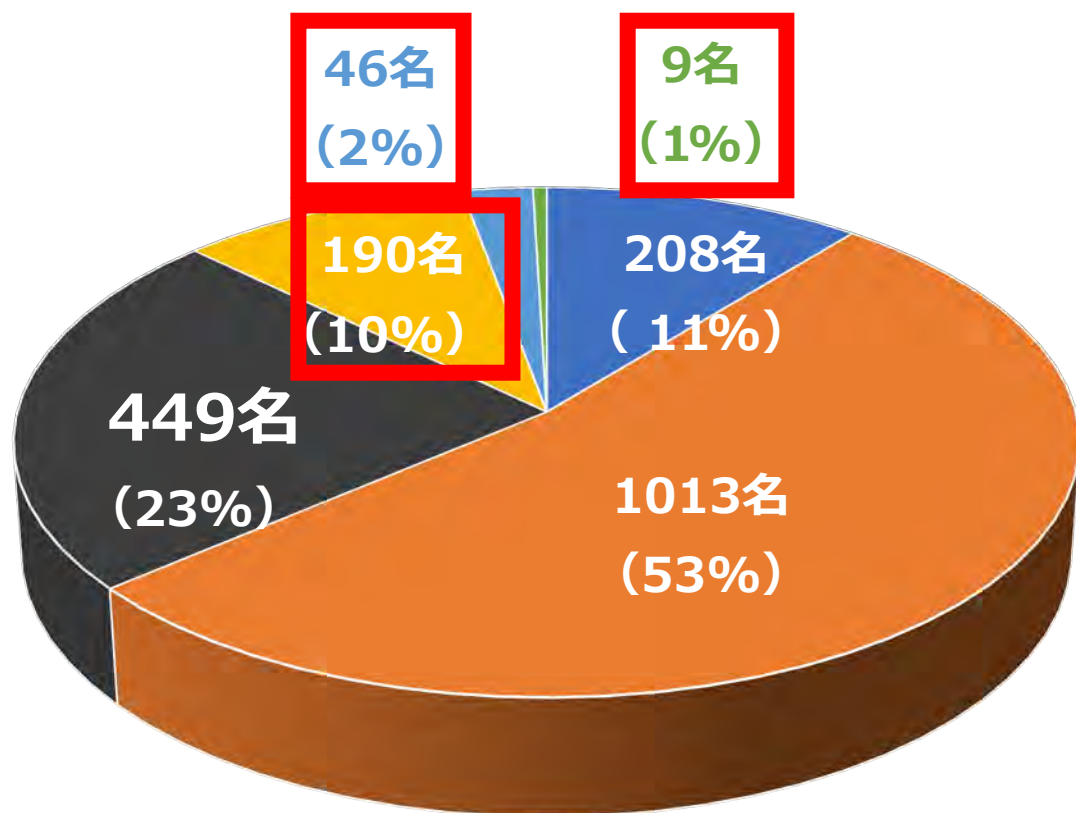
- ◆ eGFRの評価
- ◆ 家庭血圧のふりかえり
- ◆ 推定塩分摂取量の確認
- ◆ 血糖コントロール
- ◆ 脱水予防→飲水指導(2L/日)
- ◆ 浮腫の確認
- ◆ カリウムの値

- ◆ 腎毒性薬剤使用時の注意
(鎮痛剤・造影剤・抗生剤)
- ◆ 感染症予防
(インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン奨励)
- ◆ 禁煙指導
- ◆ 認知機能の把握
- ◆ 合併症の管理状況の確認
- ◆ フレイル・サルコペニアの評価・確認

- ◆ 食事内容の確認
- ◆ 減塩(塩分6g)の徹底
- ◆ ソルセイブ測定
- ◆ 調理者面談
- ◆ 低タンパク指導

2019年12月31日現在

当院外来における糖尿病患者CKD分類内訳



G1(90以上)

G2(60~89)

G3a(45~59)

G3b(30~44)

G4(15~29)

G5(~15未満)

eGFR45未満

245名

■ G1 ■ G2 ■ G3a ■ G3b ■ G4 ■ G5

透析予防管理料算定実績

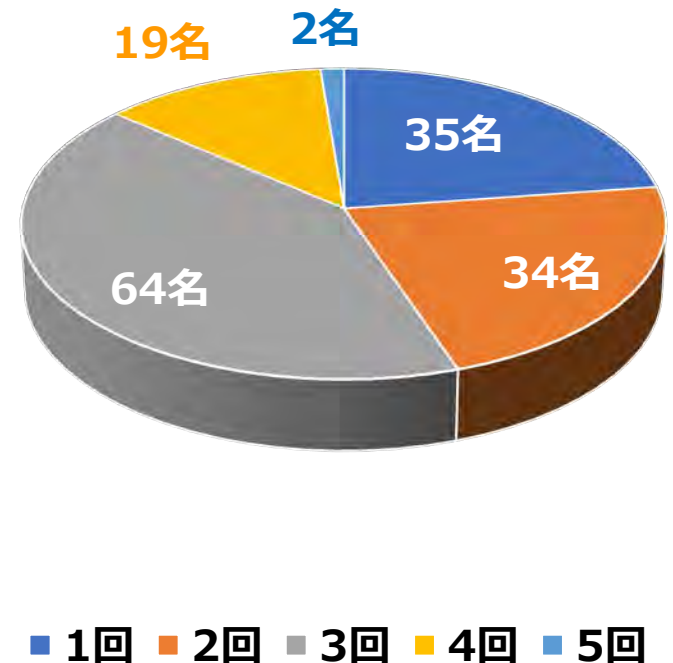
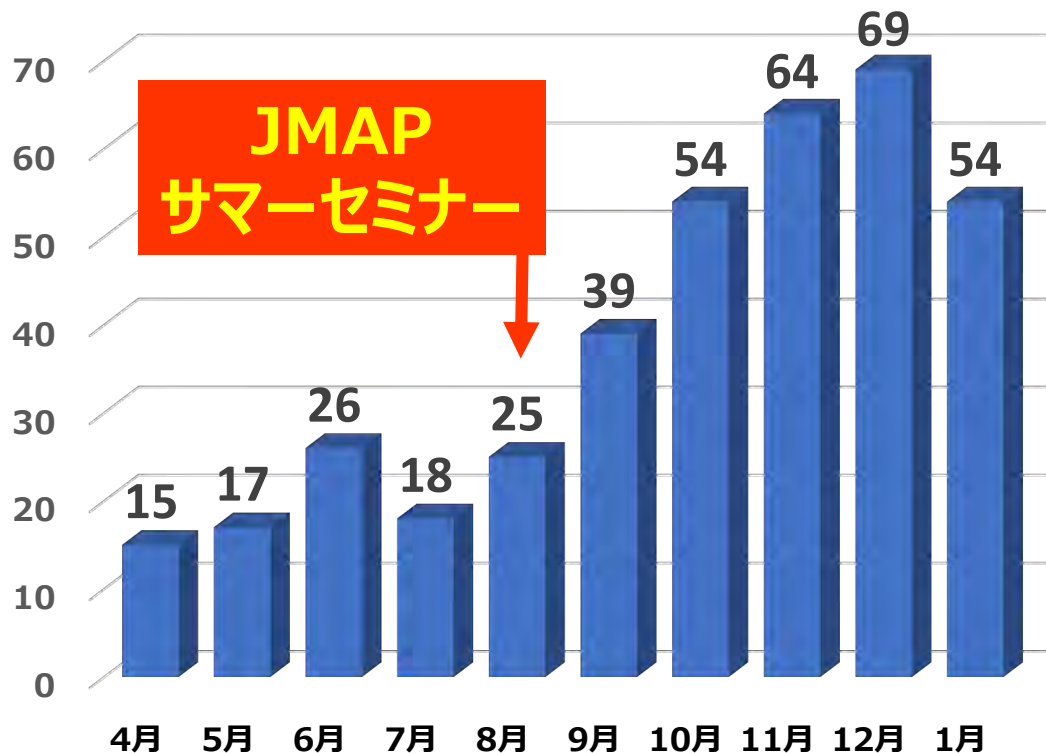
2018年4月1日～2019年3月31日

110件 (33名)

(栄養指導件数1,106件)

2019年4月1日～2020年1月末現在

381件 (154名)



**2020年JMAP総会
シンポジウム①
総合討論事前アンケート**

100点加算申請時の実績

様式 5 の 8

糖尿病透析予防指導管理料 高度腎機能障害患者指導加算に係る
届出書添付書類

報告年月日： 年 月 日

本指導管理料を算定した患者数 (期間： 年 月～ 年 月)	①	16	名
①のうち、 $eGFR_{Cr}$ 又は $eGFR_{Cys}$ (ml/分/1.73m ²) が 30 未満であったもの	②	12	名
②のうち、①の算定時点から 3 か月以上経過した時点で、血清クレアチニン又はシスタチン C が①の算定時点から不変又は低下しているもの	③	0	名
②のうち、①の算定時点から 3 か月以上経過した時点で、尿たんぱく排泄量が①の算定時点から 20%以上低下しているもの	④	7	名
②のうち、①で $eGFR_{Cr}$ 又は $eGFR_{Cys}$ を算出した時点から前後 3 月時点の $eGFR_{Cr}$ 又は $eGFR_{Cys}$ を比較し、その 1 月あたりの低下が 30%以上軽減しているもの	⑤	0	名
③、④、⑤のいずれかに該当する実患者数	⑥	7	名
⑥/②		58	%

検査項目・指導方法・役割分担①

理学療法士

- ✓ 医師の指示の下、対象患者に対する体力測定（年1回）
- ✓ 筋力・バランス・柔軟性・運動能力・筋パワー・サルコペニア評価
- ✓ 個々にあった運動メニューの提案

クラーク・運動指導士・管理栄養士を含む外来全問診スタッフ

- ✓ 腎臓リハビリテーション手引きを用いた運動の説明
- ✓ 実施状況の確認と定期評価（3～6か月）
ビー玉把持テスト（8/15以上）開眼片足立ち（5秒以上）
10回立ち座り（20秒以下）握力（男20kg女15kg以上）

看護師・管理栄養士（CDEJ）・保健師

- ✓ 重症化予防、透析予防指導の実施、評価

指導実践ワークフロー

体力測定の実施と評価（理学療法士）

医師指示の下透防管対象患者に行い、運動メニューを提案する

透防管1回目

看護師・保健師
管理栄養士

腎リハ1回目

（クラーク・健康指導士を含む問診全スタッフ）
問診時に運動メニューについて説明する

透防管2回目

看護師・保健師
管理栄養士

腎リハ2回目以降

（クラーク・健康指導士を含む問診全スタッフ）
問診時に実践状況を確認し、評価を行う

体力測定の結果用紙

運動機能測定結果御報告書

美施医療機関 904-2244 沖縄県うるま市江洲600番地 5
 医療法人貴和の会 すながわ内科クリニック
 TEL : 098-975-2555

様

■形態測定結果

検査項目	基準値		2020年2月12日	2019年6月26日	2018年2月21日
			今回	前回	前々回
身長		cm			143.0
体重		kg			50.1
BMI	18.5~24.9	kg/m ²			24.5
筋肉量		kg			10.26
体脂肪率		%			40.3
腹囲		cm			

※筋肉量は四肢（両腕、両脚）の合計値

■体力測定結果

検査項目	平均値		2020年2月12日	2019年6月26日	2018年2月21日	
			今回	前回	前々回	
筋力	握力 (右)	25.0	kg	13.9	14.9	13.4
				握力 (左)	14.9	15.4
	下肢筋力 (右)	27.0	kg	30.1	19.7	23.9
				下肢筋力 (左)	28.6	18.5
バランス	開眼片足立ち	19.0	秒	31.1	26.8	6.2
	閉眼片足立ち		秒	1.9	2.1	2.4
	ファンクショナルリーチ	37.0	cm	25.0	26.0	40.5
柔軟性	長座位体前屈	39.0	cm	29.0	28.5	30.5
歩行能力	タイムアップ&ゴー (1回)	7.0	秒	5.6	6.3	7.6
	タイムアップ&ゴー (2回)			5.5	5.9	6.4
前進脚力	10m歩行	6.0(1.7m/秒)	秒	6.5(1.5m/秒)	6.1(1.6m/秒)	7.0(1.4m/秒)
筋パワー	5回立ち座り	6.0	秒	9.9	8.7	9.5

運動機能測定結果御報告書

<筋力> 握力計・下肢筋力計を用い評価

筋力とは、筋が収縮するときにもたらされる力のことを言います。
 筋がバランスよく力を発揮することで思い通りに身体を動かすことが出来ます。

<バランス> 片脚立ち・ファンクショナルリーチにて評価

静止姿勢や動作中の姿勢を保つ能力。
 また、不安定な姿勢から速やかに姿勢を回復させる能力。

<柔軟性> 長座位体前屈測定器を用い評価

関節の動く範囲の手、また関節の動く範囲内においての動きやすさのこと。

<運動能力> 10m歩行・タイムアップ&ゴーテストにて評価

運動やスポーツはもとより、広く日常生活を営むためにも必要な身体の基本的な活動能力。
 走・跳・投といった、体力に運動やスポーツに必要な基本的なスキルを加味した能力。

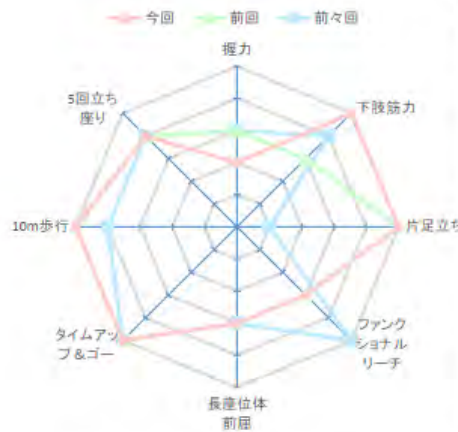
<筋パワー> 5回立ち座りテストにて評価

力に動作スピードが掛け合わされた値。

<サルコペニア>

加齢や疾患により、筋肉量が減少することで、握力や下肢筋力・体幹筋などの全身の筋力低下が起こること。

■レーダーチャート



※レーダーチャートの外枠は同年代平均値です。

■総合所見

サルコペニア：未判定
 SPPB得点：未実施

10回立ち座り：15秒36
 ビー玉テスト：R 8個 L 9個

○握力、下肢筋力の低下がみられます。
 ○腎臓リハビリテーション資料4、7ページの運動を行いましょう。

※各運動10回1セットを目途に開始して行きます。
 痛みが出ない範囲で無理のないように行います。
 継続していくことが大切です。

体力測定の結果用紙

運動機能測定結果御報告書

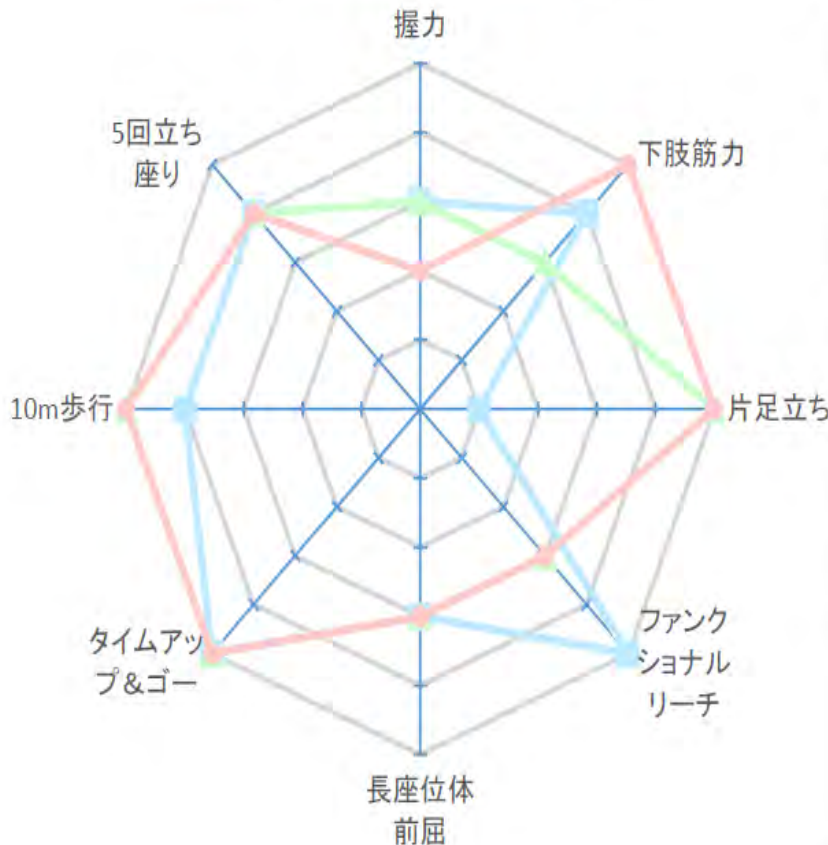
運動機能測定結果御報告書

<筋力> 握力計・下肢筋力計を用い評価

筋力とは、筋が収縮するときに生まれる力のことを言います。

■レーダーチャート

今回 前回 前々回



■総合所見

サルコペニア：未判定

SPPB得点：未実施

10回立ち座り：15秒36

ビー玉テスト：R 8個 L 9個

○握力、下肢筋力の低下がみられます。

○腎臓リハビリテーション資料4、7ページの運動を行いましょう。

※各運動10回1セットを目途に開始して行きます。
痛みが出ない範囲で無理のないように行います。
継続していくことが大切です。

■形態測



■体力測



前進歩力	10m歩行	6.0(1.7m/秒)	秒	6.5(1.5m/秒)	6.1(1.6m/秒)	7.0(1.4m/秒)
筋パワー	5回立ち座り	6.0	秒	9.9	8.7	9.5

※レーダーチャートの外枠は同年代平均値です。

腎臓リハビリテーションにあたっての注意点

・インスリン、SU 剤など低血糖を起こす薬剤を使用している方は、
次の点に特に注意してください。

✓運動量が多い場合は、補食が必要です。

✓欠食時や食事量が普段より少ない場合の
運動は控えください。



・血圧が高い場合は運動を中止してください。

・運動によって痛みがでる、気分が悪くなる、等の場合は
運動を中止しましょう。

・運動中は水分を多めにとりましょう。



以下の場合には主治医との相談が必要です。

- ◎糖尿病のコントロールが極端に悪い
- ◎増殖網膜症による新鮮な眼底出血がある
- ◎息苦しい・むくみが強い・吐き気などがある
- ◎胸の痛み・圧迫感や運動時の息切れなどがある



運動は、食後 1 時間程度たってから行うのが望ましいとされています。
無理なく楽しく運動を継続しましょう。

腎臓リハビリテーションの手引き

ストレッチ

①胸伸ばし



- 両手を大きく開きます。
- 後ろにゆっくり沿っていきます。
- * 痛くない範囲で、胸の前からわきにかけて伸びるよう意識しましょう。
- * 腰が痛い場合は腰を反りすぎないように注意して下さい。

②背筋伸ばし



- 両手を組みます。
- 手のひらを天井に向かってゆっくり伸ばします。
- * 痛みのない範囲で、手の先から足の先まで伸ばすよう意識しましょう。

③体幹側屈



- 身体を伸ばした状態から横にたおします。
- * 痛みのない範囲で、手の先から脇腹まで伸ばすよう意識しましょう。

筋力トレーニング

①膝伸ばし



- 鍛えること：大腿四頭筋
- 足首を上げながら膝を伸ばします。
- 5 秒程度かけてゆっくり伸ばしていきます。
- * 背中が丸ならないように注意します。
- * ももの前に力が入るよう意識しましょう。

②もも上げ



- 鍛えるところ：腸腰筋
- 膝を胸につけるようにももを上げます。
- * 上げるときに背中が丸ならないように注意します。
- * 足の付け根に力が入るよう意識しましょう。

③かかと上げ



- 鍛えるところ：下腿三頭筋
- 椅子に腰かけ、かかとを上げます。
- * つま先に体重をのせ、ふくらはぎに力が入るよう意識しましょう。

Q 100点加算申請後困っている点・工夫点

- ✓100点加算の施設基準を継続して満たしていくためには、eGFR30未満の対象患者について、eGFRまたは尿蛋白排泄量が悪化していないかを常時確認しながら、達成度を視野に入れた算定をしていくことが望ましいと思われる。
- ✓しかしながら、当院では、仮に100点加算の施設基準を満たさない場合でも、腎臓リハビリテーションを継続し、確実に透析予防指導を実施する事が重要と考えている。

まとめ

- ① 当院の透析予防指導管理料100点加算への取り組みを紹介した。
- ② 100点加算へ向けて現在透防管患者の指導を強化している。
- ③ 外来透析予防指導対象患者に対して
 - 理学療法士による年一回の体力測定の実施
 - 筋力低下に応じた腎リハメニューの提案
 - 健康運動士・クラークを含む外来問診全スタッフによる手引きを用いた腎リハの説明および評価を実施する事とした。



ご清聴ありがとうございました

